



まにわ

2005年9月1日 創刊号 → 第

70号



本会議最終日(9月28日)、真庭市議会議員定数条例の一部を改正する条例の改正案が発議され、全会一致で可決されました
これにより、改正後の条例施行日以降に行われる一般選挙における議員定数は22人となります

9月定例会

会期 9月6日～9月28日

9月議会の会議録は12月上旬、ホームページおよび議会事務局で閲覧できます

【主な内容】

今回の一般質問は18人

●補正予算2件を可決

●議案14件を可決

●陳情1件を採択、2件を趣旨採択

●発議1件を議決

●決算12件を認定

●人権擁護委員6名を同意

指定管理者決定

■真庭市地域情報化施設（真庭ひかり） ネットワーク

選定方法 非公募（再指定）

指定先 （公財）真庭エスパス文化振興財団 理事長 滝澤壽一

指定期間 令和5年4月1日～令和10年3月31日（5年間）

施設納付金 千円 提案額 2億4158万3千円

■久世エスパスセンター

募集方法 非公募（1団体申込）

指定先 （公財）真庭エスパス文化振興財団 理事長 滝澤壽一

指定期間 令和5年4月1日～令和10年3月31日（5年間）

指定管理料 提案額 4億1391万円

■神庭の滝（自然公園）

募集方法 公募（1団体申込）

指定先 （一社）真庭観光局 理事長 佐山修一

指定期間 令和5年4月1日～令和8年3月31日（3年間）

施設納付金 提案額 181万7千円

契約金額は、13億3,980万円で契約の相手方は菱冷・梶岡特定建設工事共同企業体です。

陳情

精神保健医療福祉の支援拡充を求める

【趣旨採択】

【精神保健医療福祉の改善に関する陳情】

「精神保健医療福祉の改善に関する陳情」が提出されました。要旨は、日本は、2014年に障害者権利条約を批准しており、全ての人の人権が尊重され、患者利用者本位の精神保健医療福祉に転換するよう求める意見書を国との関係機関へ提出を求めるものです。

審査の結果、趣旨採択に決しました。

【討論あり】

反対討論（伊賀基之議員）

本陳情を採択し、意見書を国に提出すべきである。日本の精神医療は長期入院が多く、また入院の半数近くが強制的な入院（医療保護入院）である。脱施設化をめざし、患者が早い段階から適切な支援と治療を受けることのできる包括的な支援体制の整備が必要であり、それは国の責務である。

賛成討論（伊藤義則議員）

隔離・身体拘束は、生命、個人の尊厳にかかるもので、精神福祉法でも基本的にしないと定められているが、日本では増え続けている。まず精神医療において自浄能力を發揮することころからスタートしてもらうために、趣旨採択とすべきである。

医療・介護・保育・福祉賃上げを求める

【趣旨採択】

「医療・介護・保育・福祉などの職場で働くすべての労働者の大幅賃上げを求める陳情」が提出されました。要旨は、医療機関や介護事業所等の労働環境を抜本的に改善させる対策が急務であるため、賃金を大幅に改善できる予算措置を求める意見書を国の関係機関に提出を求めるものです。審査の結果、趣旨採択に決しました。

【討論あり】

反対討論（伊藤基之議員）

本陳情を採択し、意見書を国に提出すべきである。保育士や介護士などは国の公定価格でほぼ賃金が決まる。この3月に国の処遇改善が実施され、真庭市の保育士（任期付き職員）で、3年以上連続して勤務した人が一度だけ、5,300円昇給することになった。このような遭遇では保育士不足も当然で、保育士・介護士不足は国の責任で改善すべきである。

賛成討論（伊藤義則議員）

この内容は、自分たちの業界のみを対象とした意見であり、趣旨採択が妥当と考える。

真庭高校白梅寮の改築・移転支援を求める

【採択】

「真立真庭高等学校白梅寮の改築・移転に関するご支援・ご助力の要望書」が提出されました。要旨は、県知事・県教育委員会教育長・県議会議長あてに要望書を提出しているので、真庭市議会に県への働きかけを要望するものです。審査の結果、全会一致で採択することに決しました。

議席順	緒形尚	伊賀基之	黒川愛	浅野和昭	吉原啓介	森田敏久	妹島弘和	柴田正志	福島一則	加藤大悟	西田文子	氏平篤正	長尾修	庄司史郎	入澤廣成	岩本壯八	小田康文	古南源二	妹尾智之	中尾哲雄	森脇正和	河部辰夫	
賛否の分かれた案件																							
工事請負契約の締結（蒜山スポーツ公園）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工事請負契約の締結（蒜山サテライトオフィス）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
精神保健医療福祉の改善に関する陳情	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
医療・介護・保育・福祉賃上げを求める陳情	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

小田康文は議長職のため表決に参加しない ○は賛成 ●は反対 欠は欠席 ※敬称略

予

令和4年度 9月



算

予算審査特別委員会は、9月13日の本会議で付託された令和4年度真庭市一般会計補正予算の認定のほか、真庭市国民健康保険湯原温泉病院事業会計補正予算について9月22日に審査しました。その概要をお知らせします。

令和4年度
9月補正予算

[千円を四捨五入]

3億8,621万円を可決しました

	9月補正額	補正後予算額	対前年比
一般会計	3億8,069万円	333億4,222万円	1.9%減
特別会計	0万円	126億5,744万円	0.4%増
公営企業会計	552万円	75億4,347万円	7.0%減

補正後の
全会計予算額

535億4,313万円 **対前年比1億488万円(0.2%)増**

令和4年度9月補正 会計別予算集計表

(単位:万円)

会計名	9月 補正額	補正後 予算額
一般会計	38,069	3,334,222
国民健康保険特別会計	0	518,604
後期高齢者医療特別会計	0	82,967
介護保険特別会計	0	636,984
介護保険特別会計 (介護サービス事業勘定)	0	5,089
浄化槽事業特別会計	0	5,539
津黒高原観光事業特別会計	0	3,355
クリエイト菅谷事業特別会計	0	2,069
温泉事業特別会計	0	11,137
特別会計合計	0	1,265,744
水道事業会計	0	230,520
下水道事業会計	0	357,529
国民健康保険湯原温泉 病院事業会計	552	166,298
公営企業会計合計	552	754,347
合計	38,621	5,354,313

※表はいずれも千円を四捨五入しています。

一般会計 主な歳出

総務費では、真庭市独自のデジタル地域通貨運用実証及び物価高騰・経済対策として、キヤツシユレス・市民ポイント推進事業6,219万円を計上しています。民生費では、高齢者施設等における防災・減災対策を推進するための施設整備を支援する地域介護・福祉事業2,849万円を計上しています。

空間整備等補助金5,625万円、衛生費では、公共施設の脱炭素化を図るための太陽光発電設備設置事業2,849万円を計上しています。また、湯原温泉病院事業会計補正予算に病院照明LED化事業設計委託料を

キヤツシユレス・市民ポイント推進事業に6,219万円ます。土木費では、落合垂水地区の水害対策として、落合垂水地区樋門改修事業1,202万円、久世北町公園整備の基本構想を策定する経費として、久世北町公園あり方検討事業1,199万円を計上、令和4年7月豪雨により被災した道路や河川、農地等を早期に復旧する経費として災害復旧費7,767万円を計上しています。また、湯原温泉病院事業会計補正予算に病院照明LED化事業設計委託料を

決

令和3年度

算



決算審査特別委員会は、9月13日の本会議で付託された令和3年度真庭市一般会計決算の認定のほか、特別会計、企業会計、計12件について9月20日、21日に審査しました。その概要と監査委員からの意見をお知らせします。

一般会計歳出決算額 345億7,595万円 15億6,108万円の黒字

一般会計と特別会計の決算状況

令和3年度の一般会計及び特別会計を合わせた決算額は、歳入484億9,268万円、歳出466億7,533万円であり、差引額は18億1,735万円の黒字となりました。一般会計、特別会計、企業会計決算12件はいずれも認定となりました。

一般会計歳入一覧表 (単位:万円)

款	収入済額	構成比率
市税	519,010	14.4
地方消費税交付金	106,034	2.9
地方交付税	1,475,622	40.8
分担金及び負担金	17,561	0.5
使用料及び手数料	33,064	0.9
国庫支出金	495,019	13.7
県支出金	152,151	4.2
繰入金	69,930	1.9
繰越金	119,238	3.3
諸収入	59,286	1.6
市債	444,699	12.3
その他	122,091	3.4
合計	3,613,704	100.0

一般会計歳出一覧表 (単位:万円)

款	収入済額	構成比率
議会費	23,074	0.7
総務費	342,708	9.9
民生費	839,591	24.3
衛生費	354,687	10.3
農林水産業費	169,685	4.9
商工費	114,894	3.3
土木費	295,631	8.6
消防費	175,200	5.1
教育費	421,242	12.2
災害復旧費	20,520	0.6
公債費	503,523	14.6
諸支出金	196,840	5.7
合計	3,457,595	100.0

特別会計歳出
120億9,938万円
2億5,626万円の黒字

特別会計歳入一覧表 (単位:万円)

区分	歳入決算額
国民健康保険	497,820
後期高齢者医療	72,109
介護保険	638,325
介護保険(介護サービス事業勘定)	4,955
浄化槽事業	6,155
津黒高原観光事業	1,962
クリエイト菅谷事業	1,119
温泉事業	13,118
合計	1,235,564

特別会計歳出一覧表 (単位:万円)

区分	歳出決算額
国民健康保険	494,487
後期高齢者医療	72,004
介護保険	616,709
介護保険(介護サービス事業勘定)	4,815
浄化槽事業	6,038
津黒高原観光事業	1,956
クリエイト菅谷事業	1,119
温泉事業	12,807
合計	1,209,938

3つの企業会計

[資本収支の掲載は省略しています] (単位:万円)

国民健康保険 湯原温泉病院事業会計	事業収益	167,716
	事業費用	138,364
水道事業会計	事業収益	141,132
	事業費用	118,724
下水道事業会計	事業収益	171,534
	事業費用	166,304

監査委員からの意見

市の財政状況についてみると、経常収支比率は86.4%で、前年度に比べ3.5ポイント硬直化がやや緩和し、財政力指数も0.289となっている。また、実質公債費比率は前年度と同率の10.3%で、将来負担比率は前年度に引き続き、充当可能な財源が将来負担額を上回っている。

これらの指標のうち、経常収支比率は86.4%でわずかながら改善したが、引き続き高い水準にあることから、義務的経費の抑制や経常経費の削減に、さらなる努力と工夫が求められる。将来にわたって安定的な財政運営を維持できるよう今後とも行政改革の推進と財政基盤の強化に努められたい。

基金

(単位:万円)

区分	決算年度末現在高
財政調整基金	977,558
減債基金	298,302
土地開発基金	40,520
未来を担う人応援基金	98,941
振興基金	320,853
情報化施設整備基金	85,033
ふるさと真庭応援基金	32,115
真庭市立学校施設整備基金	36,876
真庭市認定こども園等施設整備基金	31,601
公共施設整備等基金	1,200,590
旧遷喬尋常小学校整備利活用基金	15,057
国民健康保険事業基金	79,286
その他	62,907
合計	3,279,639

※表はいずれも千円を四捨五入しているため、合計に差異が生じている箇所があります。

総務常任委員会

委員長	柴田 正志	委員	加藤 大悟
副委員長	黒川 愛	委員	古南 源二
委員	緒形 尚	委員	西田 文子
委員	小田 康文	委員	森田 敏久

《会計管理者》



白梅総合体育館 下市瀬

本委員会は、6月1日、8月22日に開催し、各担当部局の出席を求め、調査研究を行いました。

本委員会は、6月1日、8月22日に開催し、各担当部局の出席を求め、調査研究を行いました。

《総務部》

■公共施設の使用料の見直し
財産活用課から、使用料の見直しについて報告がありました。

使用料は、使用料手数料見直し基本方針に基づき、平成26年度に抜本的な見直しを行つており、その後、原則3年ごとに見直しとされてい

るため、今年度、使用料が設定されている公共施設145施設を対象に

Q これだけ水道光熱費、燃料費、全て上がつてきているので値上げをしなければならないと理解するが、この見直し指針において「最大1.5倍まで使用料が増える可能性がある」とあります。

A 使用料は定期の見直しである。物価の上昇等により、市民生活への影響等もあることを考えながら、使用料を改定する際に、判断をしていくたい。1.5倍を超える場合には1.5倍で抑えるが、1.5倍になるケースはないと思つてゐる。調整もかけていくので、市民生活に影響を及ぼすことは極力しないように考へてゐる。

見直します。令和元年の再算定では、現行の使用料との乖離が少なかつたため、使用料を現行のまま据え置いており、今回の再算定にあたつても、使用料を大きく変更するということは想定していない。原則として基本方針に基づく原価算定方式を適用して、見直しを行うが、物価上昇等による市民生活への影響等に配慮する、との説明がありました。

解体後の跡地管理は、未利用市有地として引き続き活用提案を募集し、有効活用を図つていきたいとの説明がありました。なお、幼稚園には1件の活用提案があり、有効活用に向けて協議を進めることです。

Q 旧皆部小学校は土砂災害警戒区域に入つており、応募が無いと言ふことだが、今後の跡地利用はどういった利用方法を考えているのか。

A 農業施設であるとか、災害警戒区域であつてもできる事業があると考へており、そういうふた活用が出来ないかという方向で、提案を募集していきたいと思つてゐる。



平和への願いを込めて
(旧遷喬尋常小学校ライトアップ)

■旧皆部小学校の解体等
財産活用課から、旧皆部小学校の解体等について報告がありました。

旧皆部小学校、幼稚園は平成30年3月に廃校廃園となつており、廃校以後、令和4年5月末までに計6回利活用提案の公募をしてきたが、小学校は応募がなく、今後も活用が見込めないことから、令和5年度に、建物等を解体します。

Q JICAは国出資の独立行政法人であるといふところも当然考慮している。社会貢献と有効な運用も考え、JICA債を選定した。他の地方公共団体の購入状況については、JICAの公表によると相当数の自治体が、購入している。

■平和構築債の購入
会計課から、平和構築債の購入について報告がありました。

今最も大きな国際的課題のウクライナ関連問題に対し、市として、社会貢献の意思表明等を目的として、国際協力機構（JICA）発行の平和構築債

文教厚生常任委員会

委員長	大月 説子	委員	入澤 廣成
副委員長	伊藤 義則	委員	氏平 篤正
委員	淺野 和昭	委員	河部 辰夫
委員	伊賀 基之	委員	妹尾 智之



部活動支援員による指導 久世中学校

本委員会は、6月2日、6月24日、8月9日、8月23日に開催し、各担当局の出席を求め、調査研究を行いました。

《教育委員会》

■部活動改革の方向性

学校教育課から、中学校の運動部活動の地域移行について説明がありました。令和4年6月6日に中学校等の運動部活動の地域移行に関する検討会議が「運動部活動の地域移行に関する検討会議提言」をスポーツ庁に手交し、真庭市でも検討を進めている。

A 地域移行に伴う指導者の確保は
指導者の確保については、地域の受け皿づくりが必要で、専門の課と連携していくことが大事と考えている。

Q 地域移行に伴う指導者の確保は
委員会としては①働き方改革も含めた教職員の意識改革に向けた研修の実施②コミュニケーションスキルを推進する中で情報提供や研修を進めるとの説明がありました。

提言を受け、真庭市としては、子ども達にスポーツ活動の機会を持続的な形で保障することが大事な視点と考えている。方向性としては、休日の運動部活動から段階的に地域移行を進めて行くことを基本とし、令和5年度から令和7年度末を移行に向けた重点期間と考えている。地域のスポーツ団体等と学校との連携・協働を推進し、教育委員会として①働き方改革も含めた教職員の意識改革に向けた研修の実施②コミュニケーションスキルを推進する中で情報提供や研修を進めるとの説明がありました。

まにわくん枝線の潜在利用者推計と運行・利用状況をデータ化して検討し、その結果、久世・勝山・落合に過剰路線が集中しており、令和3年度に改訂した真庭市地域交通計画に基づき、企業連携による交通事業の構築に向けタクシー業者と連携し検討を進めてきた。真庭市ではAI技術を活用した「チヨイソコ」という仕組みを枝線見直しとして、この3地域へ導入するため自動車メークや保険会社、システム業者と包括連携協定を結び、交通事業への協力体制を構築していくとの説明がありました。

A 認定こども園について
令和4年2月15日から6月3日まで認定こども園設置・運営事業者を公募した結果、1事業者からの応募がありプロポーザル審査会の審査結果を踏まえて、市は応募のあつた「一般社団法人C R E D (クレド) 代表者 河野誠二氏」を認定こども園設置・運営事業者として決定しました。設置場所については、事業者から提案のあつた北町公園内(久世)への設置を認める方向で調整していくとの説明がありました。

的ない問題、複合的課題を抱えるケースの外、親の精神的不安定さ、頼れる親族の不在など、子どもへ影響するケーブルが多くの年齢ごとの支援件数では、小学生以下の割合が高いとのことです。189「たれか」じゃなくて「あなた」がらあなたの電話で、守れる命がます児童虐待防止啓発チラシとオレンジリボン

A 令和3年度 児童家庭相談
子育て支援課から、令和3年度児童家庭相談の状況について報告がありました。

した。

令和3年度の新規通告件数で児童家庭相談件数が197件であり、その内86件が児童虐待通告受理件数であつた。相談件数の推移として、過去5年間で令和3年度が一番多かつた。DVや経済

関係課と一緒に検討を進めて行く。
Q 北町公園周辺の道路整備は
北町公園のあり方検討委員会も調整しながら、道路整備など

産業建設常任委員会

本委員会は、6月3日、7月14日、8月24日に開催し、各担当部局の出席を求め、調査研究を行いました。

『産業観光部』

■酪農・肉用牛生産近代化計画の更新

農業振興課から、酪農及び肉用牛の生産の振興に関する法律に基づき、酪農・肉用牛生産近代化計画の更新を行つていて報告がありました。

ICTの活用や、スマート技術の導入、自給飼料確保の計画、堆肥等を活用した資源循環型の経営といつた内容を改正に盛り込み、更新するとのことです。



産地交付金の制度改正により、

水田に飼料作物を作付けしていける場合、水田に戻さなくてはならないという方向に変わつてきている。制度を実施するにあたり、飼料の供給に影響があるようなことはあるか。

自給飼料を確保していたものを、水田に戻すのは技術的にも、供給体制的にも難しい。國の方にも働きかけたいと思っている。



ジャージー牛の放牧 蒜山中福田

委員長	庄司 史郎	委員	中尾 哲雄
副委員長	妹島 弘和	委員	福島 一則
委員	岩本 壯八	委員	森脇 正和
委員	長尾 修	委員	吉原 啓介

■蒜山サテライトオフィス整備事業の進捗

産業政策課から蒜山サテライトオフィス整備事業の進捗について報告がありました。

6月下旬に休暇村協会を訪問した。

その際、蒜山振興として、付帯施設を含むすべての施設を寄付するとの申し入れがあつた。については贈与契約の締結に向けて手続きを進めている。重油タンクについては改修工事の中で取り壊す予定との報告がありました。

■脱炭素社会に向けた市民会議の開催

林業・バイオマス産業課から、地球温暖化対策のために、地域全体で取り組む施策を取りまとめた「地球温暖化対策実行計画」を2022年度中に環境課と共同で制定するとの説明がありました。

自治体だけではなく、地域の民間企業や市民の皆さんもあわせて、何をやっていくのかという施策を取りまとめる計画の策定を目指し



市民会議の様子 市役所会議室

ており、行政、市民、市内企業の方で、地域づくりとあわせて検討する場づくりとして、脱炭素市民会議というものを考えている。コーディネーターについては、包括連携協定を結んだ岡山大学の鳴海教授、大塚研究員にお願いする予定で、現在公募を行つており、今のところ、若手経営者の方々、高校生、子育て世代、金融機関等から応募をいただいている。また、地域バランスと年代も考慮してアンケートも実施しており、活用しながら議論を進めたいとのことです。



一般質問

答問

一般質問の記事は、800字以内で、質問した議員本人がまとめています。
9月定例会の議事録は12月上旬から閲覧できます。

- 森脇 正和
- 蒜山スポーツ公園
自然広場
- 問
- ①GREENable HIRUNEN 等の観光施設等と離れているこの施設を、どう周遊、連絡させていくのか。
- ②整備予定の空気膜構造遊具（トランポリン遊具）は人気の高い遊具で、設置されれば県内初という意味でもかなりの集客が見込まれるが、冬季に雪に覆われる蒜山地区で屋根付きの上屋を整備しないのはいかがなものか、雨で濡れている状態では、滑って危険なので使用できない。この点について問う。
- ③コンクリート滑り台を整備予定であるが、一般社団法人日本公園施設業協会の遊具の安全に関する基準によると、設置面の衝撃吸収性能の部分



大丈夫？ コンクリート滑り台

において、遊具はコンクリートやアスファルト等の硬い面に設置してはならないなどしている。今の基準では、基礎部分でさえコンクリートやアスファルト等の硬い部分の露出が認められない状況にまかわらず、子どもたちが直接触れる滑り台本体に硬いコンクリートを使用することで、かなりのリスクを伴うと思う。

人の動線の交差が予測され、衝突、転倒して頭を打つと命

にかかる構造の遊具が適切であるとお考えか、伺う。

答 太田市長

①この自然広場は幅広い多くの方、シニアから子育て世代が集まる場にしていき、ICTを活用した情報発信、この広場を訪れた人々にもSNSで観光情報の扱い手になつてもらうよう、Wi-Fiの環境整備も行いたい。西の拠点が三木ヶ原、東の拠点がこの公園で、周遊バスやサイクリングロードで橿円形の周遊で、蒜山全体の魅力を向上させていく。

②蒜山の雄大な自然の中で、伸び伸び遊べるというコンセプトでつくっている。初めから年間6ヶ月から7ヶ月程度の利用を想定している。

③国土交通省の遊具の安全に関する指針に沿つて整備を行い、小さな子どもも安心して滑れるよう配慮する。

議員研修会

一般質問を『よく』する、議員と議会のワークショップ



8月26日、法政大学教授 土山希美枝氏を講師に迎え「一般質問を『よく』する、議員と議会のワークショップ」をテーマに研修会が行われました。

初めに、土山氏により一般質問をよりよいものにするための講演をしていただきました。次に、あらかじめ6人の議員が提出した一般質問を、各班に分かれて、どの点が評価できるか、改善点を指摘、意見交換を行い、各質問提出者より意見発表を行いました。その後土山氏に評価、講評をしていただき、全員で意見共有をしました。今後は、この研修会で学んだ内容を活かしていきます。



答弁者
三ツ宗宏教育長 太田昇市長



妹島 弘和

問

まにわくんの利便性向上を



毎日運行しているまにわくん

蒜山の紅葉を楽しみにしている方や、新しくできたそばの館、道の駅・風の家に行こうとした場合、蒜山ルートで上福田まで行き枝線に乗換えが必要がある。この乗継ぎに要する時間は往復で167分である。市民が市内旅行を楽しむためにもこの待ち時間を改善すべきである。また、そばの館を通り中曽方面に行つた方が民家が多い。蒜山ルート

アクセルとブレーキの踏み間違えによる事故防止装置について、4年前の9月定例会で同僚議員が同じ質問をしている。市長は、「踏み間違えの防止装置も販売されている。市として注目をしている。この装置の支援に前向きに検討していきたい。」と答弁をしている。

この後付けの防止装置について、市民の関心度を130人に聞き取り調査をした。関心を持っている方は全体で61%お

答

太田市長

蒜山地域の乗継ぎのことも、変更にあたっては民間バス、倉吉方面との乗継ぎや、現在の利用者の動向も考慮しなければならない。

答

今石 生活環境部長

中曽方面には民家が多いと認識している。ダイヤを見ながら何ができるのか前向きに検討したい。

自動車急発進防止装置補助を

問

デジタル障害者手帳の活用を

問

妹尾 智之



障害者手帳は、医療費や公共交通機関等の負担軽減の支援が受けられるが、手帳、カード利用のため、個人情報や障がい名を見られることに抵抗があると聞いている。ミライロードという破れないデジタル障害者手帳が注目されている。スマートフォン

以下の方について伺う。

- ①デジタル障害者手帳を市の公共サービスの料金減免時に活用できるようにしてほしい
- ②障がい者団体などへの周知

と思うが、市長の見解を伺う。

答

太田市長

①まにわくんは利用できるようしている。JR西日本と中鉄北部バスも利用できる。
具体的には真庭市の施設管理部署への周知をすぐ徹底して、10月1日から順次アプリの活用を始める。

②障がい福祉ガイドブック、市のホームページにも載せていく。本当に小さいことかもしれないが、障がい者の方が安心して住み、活動できるような社会をつくっていくことを目指していく。

にこのアプリをインストールし、画面を提示することで、障害者手帳を提示するのと同じサポートが受けられるというものである。

ミライロードを本人確認書類として認める自治体や企業が増えている。企業の中には、JRや私鉄を含む鉄道会社161社が導入を開始し、全国で1,900社を超える事業者が障がい者割引に対応している。登録できる手帳は、身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳の3種類であり、手帳を忘れたときに活用できることや、手帳を提示する際の心理的負担の軽減にもつながると思う。



10月1日から利用が開始された障がい者手帳アプリ ミライロ ID

岩本壯八



肺炎球菌ワクチン接種の支援拡充を

問

特に毒性の強い肺炎球菌だが、病気が治った後でも身体機能が低下して歩けなくなったり、食事を自力で食べられなくなったり、長期リハビリが必要な方も少なくない。重症化すると死につながる危険な病気。国では平成26年からワク

チン接種を定期接種として定め、65歳以上の高齢者を対象に実施している。

市においても、65歳から5歳間隔の高齢者を対象に、1回に限り市の補助により自己負担4,846円で接種を行っている。

しかし、補助は生涯で1回のみであり、ワクチンの効果が薄れる5年後からの再接種費用約9千円は全額自己負担。年金暮らしの高齢者にとって大きな経済的負担である。更なる支援拡充をすべきである。

答

太田市長

国立がん研究センターが2018年にまとめた統計によると、前立腺がんと診断された男性は約9万2千人、膀胱がんは約1万7千5百人に上る。これらのがんは手術後、頻尿や尿漏れ症状が起き易く、尿漏れパッド着用が多くなる。

しかし、公共施設の男性用トイレの個室には、サニタリーボックスの設置が進んでおり、パッドを捨てる場所があるが、実態を調べ基準にふ

がなく、持ち帰らざるを得ない。そのままトイレに流して詰まらせるということも起きている。市が管理する公共施設の男性用トイレの個室に、少なくとも1か所でも設置していたいだきたい。

答 太田市長



設置されたサニタリーボックス

物価高騰への緊急の支援策

問

物価高騰が、市民生活に大きな影響を及ぼしている。

①酪農・肉用牛農家は、飼料や資材、電気代等の高騰で経営は大変厳しい状況である。

米農家、畜産農家数を減らさないため緊急の支援策が必要である。

②物価高騰の中、子育て世代は賃金も上がらず苦しい状況である。学校給食費の免除等支援策は行えないか。

答 太田市長

①農業分野は大変な状況になっている。国、県の制度を見ながら、市として何ができる



支援の待たれる畜産農家

さわしいところを後援・協賛していく。

か検討をして機敏に対応していく。今後も積極的に対策をとっていきたい。

三ツ教育長

問

パートナー・シップ宣言に実効性を

①パートナーシップ宣言制度ができたが、同性パートナーなど当事者が可能なことは、ほとんど増えていない。一層実効性のあるものにすべき。

②共生社会推進市民会議の現在の取り組み状況を聞く。

答 太田市長

①強制的ではなく、民間の方に理解を頂きながら進めていく。

②スケジュール本位で進めない。今、世話人会を作つて、真庭に合った共生社会とは何なのか議論している。市民総参加の市民会議の設立を目指している。

福島
一則

**農業経営者に対する
支援を**

問

実りの秋 平松

国は、物価対策として、地方創生臨時交付金を2022年度の予備費等から1兆円を確保するとしている。地方創生臨時交付金が交付された場合は、農業経営者を救済するべきであり、また交付金を活用できなかつた場合

答

太田市長

国からの交付金を有効に使いたいということであり、国からの交付金が来ない、または不足する場合でも、そのため財政調整基金を積んでいられるわけであるから、単独でも必要なことについては思い切つて財政出動する。

問

伊藤 義則

**公共施設等総合管理
計画は順調か****問**

真庭市の財政フレームは健全である。持続可能な真庭市の経営のために必要要件である。真庭市の資産が他の自治体に比べ多いことは、市民

により施設が近く便利だったり、福利厚生が厚いというメリットであった。一方で施設の老朽化が進み、人口が少なくなり利用されなくなると、色々な経費がかかるようになる。真庭市は「公共施設等総合管理計画」を策定した。内容は、公共施設マネジメントと基金の積み増しで（2022年度120億円）将来に対策するものだ。

公共施設の延床面積34・8万m²（2016年3月末）を

10年後に10%、40年後までに40%縮減させる計画である。重要な事項なので情報公開するとある。以下について市長にお尋ねする。

- ①「公共施設等総合管理計画」を策定し6年を過ぎようとしているが、市民どのように情報公開をしたのか、途中経過は順調か。

- ②「直営公共施設評価シート」と同じフォーマットで指定管理施設を評価してはどうか。
- ③計画に対する進捗率は57%と遅れている。と同時にサービス水準の維持は。

- ①全ての公共施設（576施設）を40年間でどう管理していくのか、また延床面積は40%縮減させようという目標である。
- ②直営施設と指定管理の評価には目的・手法の違いはあるが、同じ真庭市の施設なので適正な管理を行う。
- ③この計画を策定した時の見込みより財政状況は好転している。オープンな議論をし、毎年財政状況とか施設の状況を点検しながら10年ごとに計画を見直すつもりである。



北房文化センター 上水田

大月 説子



若年女性人口と出生数の維持増加策

問

重点目標である若年女性人口と出生数の維持増加策のこれまでの効果と、今後の課題について伺う。

答

太田市長

出産年齢人口比は14・9%で、15%程度を目標にしているので達成している。が、出生数の目標を250～300にしているが、昨年度は223人と最低になつており深刻に受け止めている。

人口動態では、女性の転入数が389人で全体の46・2%と相対的には少ないが、20代と30代が6割を占め、若い人が転入している。転出のほうが更に深刻で、令和3年度551名、構成年齢を見ると20代が50%、30代が15%と、若い女性の転出率が転入率を上回っている。

課長による検討チームをつくり、思い切った施策を打つて良いと思っている。

問

高校にコミニュニティ・スクールを

地域にとってなくてはならない高校として存続していくために、真庭高校にコミュニ

地方創生交付金の成果については、部局横断的に5つのプロジェクトを行っているが、転出者数を減らすことができない。意味のない事業はスクラップし、思い切った事業の展開をしていく。

男性の意識改革も必要であるが、お互いが自立しながら協力し合って生きていく共生社会の実現、それが子育てやすい真庭につながると思っている。

この制度は、高校の申請に基づいて岡山県教育委員会が認証していくものであるが、コミュニティ・スクールを待つのではなく、内実として高校・地域・行政の連携を強めていきたい。

柴田 正志



社会交流推進に補聴器の購入補助を

難聴と認知症に関連があることは明らかであるが、補聴器をつけることで認知症予防が十分でないと聞いている。補聴器もいいものは高額である。補聴器の機能、認知症との関係等を含めて、関係者の意見も聞きながら検討課題とさせていただきたい。

第3児「絢心」



答 三ツ教育長

太田市長

ティ・スクールの導入を提案し、特に看護科を地域で支えるしくみづくりの強化が必要と考え見解を伺う。

難聴者がいつまでも社会交際ができる元気な高齢者でいるため、また認知症予防と介護保険の抑制につながる可能性のある、補聴器の購入補助に取り組むことができるか。

答

太田市長

難聴と認知症に関連があることは明らかであるが、補聴器をつけることで認知症予防が十分でないと聞いている。補聴器もいいものは高額である。補聴器の機能、認知症との関係等を含めて、関係者の意見も聞きながら検討課題とさせていただきたい。

答

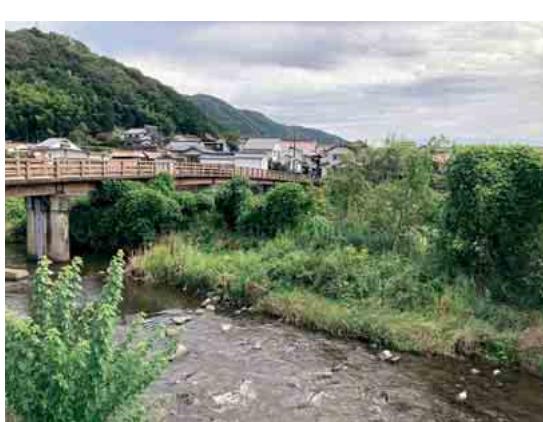
太田市長

まま何もせず放置し続けるしかできないのであれば、真庭市を代表する景観があります悪くなる。危機管理の面からも、何らかの方法で早急な立木の伐採ができないものか。

問

町並み保存地区の旭川の立木伐採を

勝山町並み保存地区へ向かう中橋あたりの中州には、雑木が橋以上の高さまで大きくなり景観を悪くしている。住民主体の奉仕作業で伐採できるレベルではなくなつていい。危機管理の面からも問題が考えられる。この



国道313より勝山町並み保存地区を望む 勝山

右岸から見る勝山の町並みは、昔から裏美人と言われ非常に景観がきれいで、住民も努力してこられたこともある。緊急要望を出しているが、危険性が低いということで、県からの回答を得ていない。景観を含めて災害防止の観点から、こんなひどい状況を放つておくのかということで強く河川内整備の要望をする。

答

太田市長

吉原 啓介



公有財産に係る リスク管理

市所有する財産、つまり公有財産に係るリスクにはどう市所有する財産に係るリスクにはどう

答

太田市長

はすだが、移転等の具体的な対策は進んでいないように見受けられる。その支障となっている要因は何なのか。また、今後その支障となっている課題をどのように解決し、対策をどう進めいくのか。



急傾斜地にある旧白梅保育園 落合垂水

この場所に放課後児童クラブが長期的にあるのは、危機管理上、問題があるという認識を十分している。

ただ、なかなか適地がなかつたということもあるが、放課後児童クラブの場所の確保についても、例外もつくらざる

を得ないところもあると思う。幸いにして落合小学校の給食調理施設が要らなくなつた。この施設を、放課後児童クラブ用に使うことが可能か確認、協議をしている。教育用の財産になつていて、教育委員会と協議をし、また工事をする場合に、落合小学校の教育に支障がなるべく出ないようにしなければならない。

しかし、なるべく早く、旧白梅保育園の跡を使つている学童保育については対応していく。

さらには周辺道路も狭い上、その道路の斜度もかなり急で、いつ車両事故等が起きたとき議ではない。

施設自体も、建物の老朽化が進んでいる上に、敷地を構成する擁壁等に関しても大部分が古い石積みという状況である。

30t、8時間という
協定を守る

問

加藤 大悟



この施設を放課後児童クラブとしての利用に供していること自体に問題があり、危険性は以前から、市、利用者、周辺住民の皆が認識している。

この施設を放課後児童クラブとしての利用に供している

が進んでいる上に、敷地を構成する擁壁等に関しても大部

分が古い石積みという状況である。

この施設を放課後児童クラ

ブとしての利用に供している

こと自体に問題があり、危険

性は以前から、市、利用者、

周辺住民の皆が認識している

現在、益や年末年始は非常に混雜しているが円滑安全にピットに投下できるシステムはどう計画しているか。

一日8時間稼働30t焼却能

答

太田市長

30t、8時間という
協定を守る

真庭市内のクリーンセンターや施設を「まにわクリー

ンセンター」に集約統合する

計画について。

この施設を放課後児童クラ

ブとしての利用に供している

こと自体に問題があり、危険

性は以前から、市、利用者、

周辺住民の皆が認識している

力を超えた場合の処分計画はどういうにするのか。

ごみの増による排出ガスの環境への影響はどうか。また集約統合計画を見直すべきと思

うがどうか。

計量器をもう一台出口付近に設け、収納もそこで清算する、そういう提案をするがどうか。

現在、益や年末年始は非常に混雜しているが円滑安全にピットに投下できるシステムはどう計画しているか。

集約化の実現に向けて真庭市廃棄物減量等推進審議会に

おいて施設の在り方、集約後

の課題やその後の対応につい

て、新たな処理体制の検討を

紹介している。

3つの施設を集約化すると

きに、計量や料金収納等のシ

ステムを直し全体として搬入車両をへらす。



クリーンセンターまにわ 三阪

進めてきた。

不燃ごみ、大型家具等を3か所別に持つて

いく場所をつくる。今までクリーンセンターまでわに持つていつたものは他の所に置いて

集約するので、クリーンセンターまにわに入れる台数を減らす。

生ごみの分別収集で可燃ごみの減量化を図つて、30t、8時間という協定を守る。

クリーンセンター集約化の見直しは、合併の時から協議事項に入つていて、市長になって、ずっと検討してきた、生ごみの資源化事業、10数年かけて取り組んできた事業を見直すというのか。

50億円を超える歳出をして環境に優しい真庭をつくつて、国会の委員会でこうい取り組みをしていることを

庄司 史郎



行革審からの意見書の受けとめ方は

問

行政改革審議会から、5項目から成る真庭市行政経営への意見書が出されているが、どのように受け止めているのか見解を伺う。また、意見書をもらって、どうすることを具体的に取り組んでいくのか。

答

太田市長

5つの項目について、厳しい御指摘、助言をいただきている。

特に前回の第3回行政改革大綱の進捗の遅れ、ひと・もの・かね・職員・施設・財源といった行政資源をどのように効果的、効率的に活用するかの検討が不十分との指摘に加えて、最重要課題として就業環境と人材育成の充実強化を要請されている。

市民の目から見た率直な市役所の現状であるというふうに受け止めている。

答 有本総合政策部長



看護科のある真庭高校 落合垂水

直接市民に処遇を提供する専門職員について、今回定員適正化計画に必要数の維持充実というのを明確に掲げた。もう一つ、風通しのよい職場環境という中で、コミュニケーションがちゃんと図れる組織形態というものを、もう一度考えていただきたいと思ってい

ーションがちゃんと図れる組織形態というものを、もう一度度考えていただきたいと思ってい

言つていいほど利用されない。設立目的を達成するために相応の見直しが必要では。

答 太田市長

看護師等育成奨学金の見直しは

問

看護師の育成及び確保を図り、もって市の地域医療の向上に資することを目的とするということで、看護師等の育成奨学金を設けたが、全くと

地域医療で働くことの重要性も認識してもらうようなこともしながら、しかし生徒の現状も頭に入れながらやつていかないと、本当に深刻な問題だと思っている。免除がわかれっていてもアンケートで希望はゼロ。真庭市の医療機関に勤めてもいいという人をどうつくつて行くかという事をしないと、解決しないと思う。

答 太田市長

森田 敏久



部活動の地域移行

問

公立中学校の休日の部活動が令和5年より段階的に地域移行し将来的には平日の地域移行も視野に入れられている。

①中学生にとって部活とは。②真庭市の現在の取り組みと課題は。

③増加すると思われる活動費は機会均等を念頭に受益者負担で行い、経済的理由により



部活動支援員による指導
久世中学校

④中山間地域の真庭での指導者確保は困難を極めると思われ、指導者バーンクの検討等、仕組みづくりは必要。
⑤問題解決、環境整備、指導者の共通理解を図る意味でも協議会設立は必要。

⑥各関係者の認識と価値観を共有するため、協議会の設立が必要では。

答 三ツ教育長

総論として少子化の中、部活動環境の維持は限界があり、持続可能にするためには地域移行が必要である。

①部活動は教育活動の一環で社会性や協調性を養い自己肯定感に繋がる。

②6月に部活動改革の方向性を考える会を設け話し合いを始めた。課題としては、受け皿の確保、指導者の質と量の確保、利用施設、大会、会費や保険、教育的意義の継承等があげられる。

③一定の受益者負担になる。

経済的理由により運動・文化

に親しむ機会が奪われないようにしたい。

④中山間地域の真庭での指導者確保は困難を極めると思われ、指導者バーンクの検討等、仕組みづくりは必要。

⑤問題解決、環境整備、指導者の共通理解を図る意味でも協議会設立は必要。

有害鳥獣駆除の状況

問

答 太田市長

有害鳥獣半減を目指す国の強化対策十年計画が来年目標

年を迎えるが、真庭市の現状と技術開発の推進について伺う。

猪は減っているが、鹿は生息地域も含め若干増えている。猿については絶対数を減らすため猿被害に強い集落づくりモデル事業によりGPSや発信機による効果的捕獲を行っている。

新技术についてはICTを活用した遠隔操作の檻の設置を行っている。

黒川
愛

真庭市の農林業を守り抜くために



久世保育園 久世

答

太田市長

単発の補助金での対症療法はできる限り取りたくない。循環型の農業対策を打っていく。全体のバランスを考え、一生懸命に検討している。

燃油や肥料等が値上がりし、農林業が深刻な状況。真庭市の主要な産業を何とか守り抜くために、必要な支援を。

答

太田市長

民間こども園の事業所が決まりた。初めてこども園を運

園整備計画が必要

答

太田市長

①民間でつくって、占用許可で行つて、非常に自然な流れ。これで良いのでは。

②占用料という形で発生する。

③不安の声が今まで届いてない。常識的には、公園の中で新しい保育所をつくる以上、

④不安の声が今まで届いてない。常識的には、公園の中で新しい保育所をつくる以上、

今のは老朽化であり廃止していく方向。議論はしてないが、老朽化している市営住宅も含めて公園整備を考えるというのが常識だと思つて

いる。

③子ども・子育て会議の議論

営する法人で、希望場所は北町公園内、定員は122名。園整備計画は無いまま。今後どうなるのか。

①公園にできるなら、公設民営で良かったのでは。

②賃貸料は発生しないのか。

③定員120名は多い。規模の見直しが必要では。子ども・子育て会議の答申書や議事録に

出てない。保護者説明会の資料も100名だった。

④今後どうなるのか、地域や保護者にも不安が広がつてい

る。園整備計画が必要では。

本来の仕事に専念できるように

問

緒形 尚



答

太田市長

サポーターは今29名で、今要請に応えるのが手いっぱい。サポーター養成に力を入れ、その上で充実を図る。

子育て支援サポーター制度

問

太田市長

サポーターは今29名で、今要請に応えるのが手いっぱい。サポーター養成に力を入れ、その上で充実を図る。

お母さん達が利用しやすい子育て支援サポーター制度が必要では。

を踏まえ、二一ツ対応として数字を出した。

真庭市においては、令和元年度、真庭市教育基本方針の中で、「学校教育を担う教職員の働き方改革については、業務改善や組織運営体制の見直しを図り、教職員の長時間勤務の解消に向けた取組を推進する。」と記されている。教職員の働き方改革をどのように取り組み、どのような成果につなげたのか、今後の課題についても教育長に伺う。

答

三ツ教育長

真庭市教育委員会では、平成29年、風通しのよい職場づくりを土台にしながら、時間管理を徹底していく。それから、学校閉校日を設定、休暇取得を促進したり、部活動休養日を設けている。また、業務の見直しと軽減ということ

在校等時間、学校にいる時

間の超過時間は、小学校で約46時間、中学校で約55時間と平均は下回っているが、適正な勤務時間とは言えない状況になつてている。県の



子どもたちのために！ 湯原小学校職員室

令和5年度、岡山県教員採用試験の倍率が公表をされ、岡山県では小学校3.4倍、中学校では5.3倍と深刻な状況である。要因の一つとして、いわゆる教育の労働環境のブラック化が挙げられる。教員の職務内容は、教科の指導だけでは

なく、生徒指導や保護者対応、部活動の指導など多岐にわたる。

真庭市においては、令和元年度、真庭市教育基本方針の中で、「学校教育を担う教職員の働き方改革については、業務改善や組織運営体制の見直しを図り、教職員の長時間勤務の解消に向けた取組を推進する。」と記されている。教職員の働き方改革をどのように取り組み、どのような成果につなげたのか、今後の課題についても教育長に伺う。

人的な配置、校務支援システムや教職員のグループワークの導入、学校給食費の公会計化等、ハード、ソフト両面から取組を進めている。

浅野 和昭



保育園等への アプリ導入を



安心安全と負担軽減するアプリ機能

園児、保護者、保育士等の接觸する機会を減らし、保護者と保育士と園の負担を軽減するアプリの導入について伺う。コロナ禍において保育士、保育園の負担もかなり大きく、園での対策と保育士に対する負担軽減策が遅れている。

健康観察アプリでは、園児の毎日の体温を保護者がオンラインで園に送信でき、園は

登園前から園児の体調を把握することができる。

園児・保護者に対して有効な機能は健康連絡帳、食事管理やアレルギー管理、お便りのデジタル配信（個別世帯の既読状況の確認が可能）、アンケート機能、登園・降園機能（毎日の時間も記録される）。

既読状況の確認が可能）、アンケート機能、登園・降園機能（毎日の時間も記録される）、お便りのデジタル配信（個別世帯の既読状況の確認が可能）、アンケート機能、登園・降園機能（毎日の時間も記録される）。

お知らせ機能もある）、外籍の方への文章自動翻訳機能、欠席・遅刻連絡機能（これを使用すれば、登園時の忙しい時に担任が受話器を持って電話を受ける必要がなく、欠席等の情報は必要に応じて他のクラスの保育士や園全体、市とも共有できる）、保育士、園に対しては勤怠管理、シフト管理、休暇管理等とても多くの機能がある。

アプリ導入については、園運営のICT活用によって保育士の負担軽減を図る。もつと直接的な保育業務に専念できる環境をつくっていくことは、保育の質の向上につながり、保護者の利便性の向上にもつながる。

アプリの導入は、基本的に私も同じ意見で、進めるべきだ。利用者、保育士、お互いにとつて使いやすいシステムになるように調整を行って、全園でのシステム導入を図っていく。

だが決められなかつたのか。
②天の川こども園は職員が33、送迎用が32、計65台の駐車場がある。北町公園の体育館北にそれだけの車が入るか。また、園舎が建つか。民間事業者が希望している3千m²の倍の約6千m²ある天の川こども園の定員122人の半分の61人が妥当。

③全国的に保育士は足りていない。昨年の保育園の事故は全国で2千3百件、死亡者5人、どれも人材不足が原因。幼い沢山の命を預かる訳だから、行政は最善の道を選ぶべき。122人定員は多過ぎる。久世の57年の歴史の中で80人定員を再検討すべき。再度検討の意思を聞く。

久世第2保育園の 建て直し

問 氏平篤正



太田市長

だが決められなかつたのか。
②天の川こども園は職員が33、送迎用が32、計65台の駐車場がある。北町公園の体育館北にそれだけの車が入るか。また、園舎が建つか。民間事業者が希望している3千m²の倍の約6千m²ある天の川こども園の定員122人の半分の61人が妥当。

③全国的に保育士は足りていない。昨年の保育園の事故は全国で2千3百件、死亡者5人、どれも人材不足が原因。幼い沢山の命を預かる訳だから、行政は最善の道を選ぶべき。122人定員は多過ぎる。久世の57年の歴史の中で80人定員を再検討すべき。再度検討の意思を聞く。

答 太田市長

久世第2保育園は50年選手でとても古い、どう建て直すのか。6月議会でスルーされた質問を再度する。公立で建て直すのか、民間に任すのか、壊れるまで使うのか。



認定こども園が建つ北町公園 久世

問 典武館と
活き生きサロン

数々の活動をして来た歴史ある典武館、典武館の伝統を守り継いで頂きたい。北町公園内の生き生きサロンも必要な施設。この2つをどう整備するのか。

答 江口健康福祉部長

②3千m²は決まつたものではない。2階建も検討してほしいと民間事業者には伝えている。

答 太田市長

数々の活動をして来た歴史ある典武館、典武館の伝統を守り継いで頂きたい。北町公園内の生き生きサロンも必要な施設。この2つをどう整備するのか。

西田文子

問

農業・農地を守る
施策を

農地を管理するのは大変である。今は自分がやっているが、子どもたちの代には、誰かに作ってもらうか、手放すか、荒らしてしまうだろうとあきらめている。

テレビで星野リゾートが由布院で耕作放棄された棚田を復活させ、棚田を主役として建築家の隈研吾氏がホテルを設計したと放送していた。日本の田園風景は、観光になるほど美しいということだ。作付けはしていながら、管理している、すぐ使える農地を、企業の力を借りて農家と企業を繋ぐ政策を考えはどうか。

企業が農地取得するのは、農地法に基づく要件がかなり厳格で、普通の企業はできない。リース方式によるのではなく、農地を使える企業は現在全国で3,867、岡山県で115、真庭で17企業だ。農地を借りたい企業には中間管理機構に繋ぎ、適正な経済活動



今は珍しくなった秋の田園風景 社

として、地域に溶け込んでやつてもらえる企業は大いに歓迎する。積極的に企業誘致はしていきたがなかなか難しい中で、新規就農事業を推進している。営農法人ではスマート農業の活用、あぐりネットワークの活用によって農産物の出荷を推進することで、農地の活用、農業の生きがいづくりをやっている。

農地に戻すのは難しいところには、早生樹の柳を植えて、バイオマス燃料の栽培地にしていく。何とか真庭の農地が、今の時代に合った形で管理できないかということを課題に、問題意識をもつて進める。

議会の動き

高校生との意見交換会

真庭市議会では議会活性化の取り組みとして、初めて高校生と意見交換会を行いました。

●総務常任委員会

勝山高校

9月22日、勝山高校生徒16名と意見交換会「住み続けたい真庭とは?」を行いました。4班に分かれ、ワークショップ形式で、高校生に考えや思いを付箋に書いてもらいながら、話をしました。「真庭の自然が良い、人が温かい」「JRの本数が少ない」「議員が聞く耳を持っていない」「遊ぶところが少ない」など、班で出た意見は各班で模造紙にまとめ、高校生が発表を行いました。たいへん貴重な時間をありがとうございました。



勝山高校意見交換会

●文教厚生常任委員会

真庭高校看護科

7月12日、真庭高校看護科生徒9名と「看護学生にとって働いてみたいと思う夢ある真庭とは」をテーマに、意見交換会を行いました。看護師だけでなく保健師や助産師をめざすとはっきり目標を持っている生徒が多く、将来は都市部の大きい病院に勤務したいという意見や安心感があるので地元の病院へと様々な声がありました。寮の改善や通学の交通の不便さなど、課題も示され大変参考になりました。



真庭高校意見交換会



文教厚生常任委員会 オンライン研修

7月29日に広島県府中市において「府中市CS（コミュニティ・スクール）フォーラム2022」が開催され、コロナウイルス感染状況を鑑み、オンライン視察研修を行いました。視察目的は、先進地である府中市のCSの取り組みを学ぶことです。府中明郷学園CS「9年間の学びと育ちを繋ぐコミュニケーション・スクールの底力」を受講しました。CSの目的は、「地域は土、学校は風」学校と地域の共通目標は「子どもを育てる」とが心に残りました。10月に行う政策討論会に活かしていきます。



オンラインでの研修

岡山県市議会議員研修会

8月18日、第52回岡山県市議会議員研修会がオンラインで実施され、防災システム研究所の山村武彦所長による『誰一人取り残さない～互近助で作る災害に強いまち～』について講演を受けました。

国内外の数多くの災害現地検証をもとに、

- 地域防災に対する心構え
- 実践的防災・危機管理（災害後対処訓練と共に災害予防訓練が必要）
- 防災時の判断力（正常性バイアスと凍り付き症候群）
- 災害につよいまちづくりに向けて『自助・共助・公助+「互近助の力」』の重要性

について、岡山県内15の市議会議員と学びを共有することができました。



防災研修の様子

文教厚生常任委員会 意見交換会

7月14日、真庭市中学校長会と「コミュニティ・スクール」と「地域による部活動支援」をテーマに意見交換会を行いました。コミュニティ・スクールについては、4年目の学校から来年度より発足する学校もあり、現状はさまざままで、地域と学校の連携をどのように築くかまだ模索の段階であるが、地域との協働の必要性が多く話されました。「地域による部活動支援」については、教職員の働き方改革だけでなく、生徒数の減少もあり、学校・地域・教育委員会総ぐるみの取り組みとすべきという意見が多く出され、今後の進め方を考えるうえで大変参考になりました。



中学校校長との意見交換会

総務常任委員会 意見交換会

7月26日、(一社)真庭スポーツ振興財団と、「真庭市自主防災組織育成強化及び設立推進事業」の取組について意見交換会を行いました。自主防災組織の設立の推進から育成強化に目標を変え、地域防災マップを作成して避難ルートの設定支援、広報活動や出前講座など、地域力向上に力を注いでいます。



スポーツ財団との意見交換会

産業建設常任委員会 意見交換会

市内の農産物直売所の皆さんとの意見交換会を8月8日に行い、出席者から施設の老朽化や構造面での防犯性の問題等の現状課題や、出荷者（生産者）の高齢化や後継者・担い手不足といった将来に向けた課題点等が示されました。政策課題として委員会からも積極的に提案していきます。



直売所との意見交換会

市民の広場

ここは市民みんなでつくるページです
楽しい気持ちでご参加ください

▼きぬむすめ(西原)



▲音楽イベント「エクストラバガンザ」
(クリエイト菅谷)



▲ダリア園
(奥谷邸)

BO
募集

絵画、イラスト、書、写真などを募集しています。
住所、氏名、電話番号を書いてください。ペンネームを希望される場合も連絡先と氏名が書いてあることが必要です。
「投稿！言いたい」は200字以内にまとめ、ご応募ください。
文責として氏名を掲載します。誹謗中傷等の内容や紙面の都合上、掲載できない場合があります。
応募先▶真庭市議会 宛先は、20ページの帶欄に記載しています

議会では、市政の課題等及びそれらに対してどのような議論がなされているのか、といつたことについて広く市民のみさんに知つていただきため、9月定例議会の様子をまとめた「GIKAI HEADLINE」を10月7日から

13日まで真庭いきいきテレビで1週間、10月14日から27日までYouTubeで放送・配信しました。

番組内容や日頃の議会活動に関して、市民の皆さんのご意見、ご感想をぜひお聞かせください。

GIKAI HEADLINE



真庭市議会 HP



真庭市議会 フェイスブック

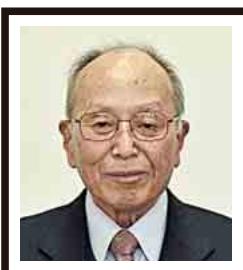


↑ご意見・ご感想はこちらまで

採算性の悪化により廃止、減便が懸念されるローカル線沿線地域等の情報を交換共存し、利用促進をはかるとともにその存続と持続可能な地域発展に資することを目的として結成される「(仮) JR芸備線・姫新線・因美線の利用促

進と存続をめざす議会議員連盟」への参加につき、新見市議会事務局より書面による提案がありました。真庭市議会としては、9月6日開催の議会全員協議会において、議会として参加することを決しました。

JRローカル線存続に向けて



議員の訃報

去る令和4年10月7日に河部辰夫議員(82歳・緑真会)が逝去されました。

河部議員は、平成9年に北房町議会議員に初当選し、3期務められました。平成17年に真庭市議会議員に当選し、現在5期目であり、議長や議会運営委員会委員長などの要職を歴任されました。永きにわたり、北房町政、真庭市政の発展に尽力されました。

ここに哀悼の意を表し、謹んで故人のご冥福をお祈り申し上げます。

12月定例会は

12月2日(金)から12月21日(水)

12月2日(金) 本会議(開会・議案上程・提案説明)

8日(木) 本会議(一般質問)

9日(金) 本会議(一般質問)

12月12日(月) 本会議(一般質問)

13日(火) 本会議(一般質問・委員会付託)

14日(水) 15日(木) 常任委員会

16日(金) 予算審査特別委員会

21日(水) 本会議(委員長報告・採決・閉会)

- 会議は通常午前9時30分に開会します。
- 正式には11月30日(水)の議会運営委員会で決定します。

12月定例会の請願・陳情は

11月30日(水)まで

12月定例会の請願と陳情の受付は11月30日(水)までです。様式などの問い合わせは議会事務局までお願いします。

ただし、土日祝日等の市役所の閉庁日は除きます。

市政などについての意見や要望があるときは、誰でも請願や陳情を議会に提出することができます。

請願は、議員の紹介を必要とするのに対し、陳情の場合は議員の紹介は必要ありません。



真庭市議会HPをご覧ください
議会広報も第1号から掲載



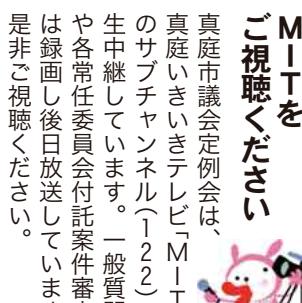
青空にジャンプ M.I.

ちょっと一枚

問題 次の一般選挙から
真庭市議会の議員
定数は○人



正解者35人、
総数は35通で、
前号の応募
ありがとうございました。
答えは「3」でした。ご応募
ありがとうございました。



真庭市議会定例会は、
真庭いきいきテレビ「MIT」
のサブチャンネル(122)で
生中継しています。一般質問
や各常任委員会付託案件審査
は録画し後日放送しています。
是非ご視聴ください。

議会広報
編集特別委員会
委員長 吉原 啓介
副委員長 黒川 愛
委員 伊賀 基之
委員 大月 説子
委員 森脇 緒形
委員 池田 正尚
委員 正和 尚
事務局 政師 説子

議会おもしろ話!

「議会の品位って…」

地方議会は、まちの将来を決める重要な場所。だからこそ、むだがなく、一点の曇りもない議会運営をすることが求められているはずだ。「議場でしつかり議論する姿勢こそが、『議会の品位』。住民に議会が開かれ、そして尊敬される新しい時代にこそ、新しい議会を作っていく必要があると思う」。とらえ方が十人十色の「品位」という言葉。どれだけ実を伴って、住民の負託に応える議論をしていくかが重要である。(文責・緒形)

全国の市議会が会議規則を定める際に見本とする、「標準市議会会議規則」がある。その中に、「品位の尊重」という文言を見つけた。なぜ、このような文言が入ったのか。

たのか。

全国市議会議長会は、「議員は良識や常識を持つて、仕事をしている」とが前提だが、品位のボーダーラインを示すことは難しい。標準の規則はあくまで参考のためにあって、地方分権の中にあって、画一的なものを見せていくのは違和感がある」としている。うーん、ますます、難しくなってきた。

結局、議会の品位つて…

議会改革は新たなステージへ